

1. 評価結果概要表

平成 20年 8月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	2071400366		
法人名	医療法人矢嶋内科医院		
事業所名	グループホームせせらぎの家		
所在地	茅野市宮川6327-1 (電話) 0266-72-4626		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成20年8月12日	評価確定日	平成20年9月16日

【情報提供票より】( 20年 7月 1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	23 人	常勤13人	非常勤10人 常勤換算17.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての	1, 2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	なし		
保証金の有無 (入居一時金含む)	なし	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	400 円	おやつ 300 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 ( 7月 1日 現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	5名	要介護2	5名
要介護3	6名	要介護4	2名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 84, 9 歳	最低 75 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	矢嶋内科医院、往診クリニックの、諏訪中央病院、リバーサイドクリニック、林歯科クリニック
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは茅野市の西部、田園住宅地の静かな環境の中にあり、敷地内の菜園では入居者と共に花や野菜づくりを楽しんでいる。1階・2階それぞれに1ユニットづつを配置し、菜園に面した各階に広々としたベランダ・テラスがある。1階には吹き抜けのホールがあり「ふれあいコンサート」等が開催され、様々な交流の場となっている。開所5年目に入り、ユニット間の入居者の自然なかかわりの姿もみられ、2ユニットの持つ機能を発揮されている。法人代表は内科医院の院長であり、長年に渡り地域医療に携わって来られ、地域を含め入居者やご家族の日常の安心への支援に繋がっている。ホーム長は看護師職でもあり、チームや法人の有する総合力を発揮しターミナルケアの実績もある。ホーム独自の理念には、入居者と家族との幸せも大切に据けて支援しながら、看取りや看取られた後のご家族の、心の支援にも配慮している。また職員の接遇も良く入居者やご家族の安心や信頼を得ている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回調査結果は運営推進会議で報告され、チーム全体で改善に取り組んでいる。職員はホームの理念に基づき、“その人らしく暮らす”を大切に捉えながら、より質の高い支援へ向けて、生活の中の楽しみ事を見直し、入居者の保有する力や生活の活性化に向けた支援に取り組んでいる。防災等、地域の協力体制については、地域の実情も踏まえながら継続的取り組みを行なっている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価は今回で4回目になる。経験豊かな管理者の下、今回もチーム一体となって自己評価を丁寧に行っている。それぞれのユニット毎の課題・ホーム全体の課題など、多くの項目に職員の改善・課題意識が向けられており、向上的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>現在のホームの様子・活動状況の報告等を行ない、出席者から助言・要望を頂く中で、地域の方々の力や協力を活かした新たな活動を生活の中に取り入れ、支援や交流が行われている。またホームからの相談事項として、防災訓練については、地域性や特性・実情も討議され、双方の課題として更なる理解・協力が得られるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ホーム入居にあたり重要事項説明書に記載されている苦情相談窓口の説明が行われ、ホーム入り口に国保連のポスターを貼り、ご家族の意見・苦情が表せることを伝えている。またホームの理念として家族の関係を大切に捉えており、家族の思いを受けとめ、家族が参加できる機会を多く持ちながら、計画書の説明時や面会時・電話等により、ご家族との意見交換が行われ、要望などを支援に反映している。また運営推進会議には毎回ご家族が各ユニット1名づつ、全員が交代で出席され、他の出席者と共に討議に参加を頂いている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ホームの吹き抜けの広いホールを活用して、地域に開かれた「ふれあいコンサート」を開催したり、生け花・習字・フットマッサージ等の地域ボランティアの方々との交流が日常生活の中に安定的に行なわれ、近隣の方々より、野菜や花なども届けられ馴染みの関係を築いている。また自治会協力を納付し、地区の夏祭りには招待状が届き、地域の方々と共に夏祭りを楽しんでいる。</p>

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念として「住み慣れた地域で、その人らしくご家族との関係を保ちながら、最後まで幸福に暮らせるような支援」を大切に捉え、入居時には本人・ご家族に説明をして、職員一体となって理念の実践に取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は職員採用時には理念を伝え、ホーム会・カンファレンスの中で理念に触れる機会を持ちながら、確認や共有を図っている。さらに日々の支援が理念に基づいて取り組んでいるか、職員一人ひとりが、より理念を意識して支援できるよう、今以上に機会を増やしていく旨を管理者より伺った。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開所後5年目となり、近くの公園等への散歩の折では地元の方々と挨拶や声を掛け合い、花や野菜が届けられ、地域に溶け込んでいる。多くのボランティアや地域のボーイスカウトの皆さんの訪問・小学校6年生との交流等も行なわれている。また自治会協力金を納め、地区の夏まつりに出かけ、地域の方々と楽しい時間を過ごしている。		今後、地区の子ども会や老人会などの行事に、出向いて行き、地域の方々と交流を深めていきたいとの意向を伺った。地域の一員として、今以上に地域との付き合いが深められていくことを期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員はサービス評価の意義や目的を理解し、今年度もユニット毎の自己評価を全職員で取り組み、多くの新たな気づきを得ている。外部評価の結果も含め、ホーム会で具体的な検討・取り組みを行ない、より良いサービスの向上に努められている。		

グループホーム・せせらぎの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議において、ホームの活動状況の報告・出席者からの要望や助言・ホームからの相談事項などと共に、自己評価・外部評価についても報告し、話し合いが行われている。それぞれの委員からご意見を頂き、新たな取り組みも始められており、サービス向上に活かしている。</p>		<p>昨年度も挙げられている地元地域との防災協定については、重要性の認識と共に前向きな取り組みがなされている。さらに会議を重ねる中で、委員の方々等のご協力を頂き、入居者等の安心の確保の為に継続的な取り組みを期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>管理者は必要に応じて連絡を取り合い、ケースの相談等を行なっている。時には市からの依頼事項もあり、互いに連携をしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>定期的に「ご家族の皆様へ」のお便りの中でホーム全体的の様子をお知らせすると共に、ご家族の訪問時はその都度入居者の日常生活の様子をお伝えし、金銭出納帳にサインをいただいている。また健康状態については必要に応じて、ご家族へ電話などで連絡を行なっている。今後職員の異動の報告も適切に行なっていく旨を管理者よりお聞きした。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時にホームや公的機関の相談窓口・市の介護相談員の活用の説明・ホーム入り口に国保連のポスターを貼り苦情を出しやすいようにしている。介護計画書の作成時には入居者・ご家族の意見・意向を取り入れた計画や支援を行なっている。運営推進会議には2ユニットそれぞれのご家族の出席をいただき、運営に反映している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット毎に職員体制を整え、馴染みの職員による支援を大切にしている。異動や職員採用時は、いきなりシフトに組み込まず、業務に慣れるより入居者に寄り添い、馴染んでいただくことを最優先にして、入居者への影響に配慮している。</p>		

グループホーム・せせらぎの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は大切なホームの一員として、全員の研修の機会を確保している。参加者による報告を行ない、日々の支援を振り返り職員自らの気づきを育成に繋げている。今後、外部研修に加え、内部研修も充実していきたいとの管理者の意向を伺った。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	H19年4月諏訪のグループホームからの呼びかけにより「諏訪圏域グループホーム交流会」が発足。毎回職員が交代で参加し情報・意見交換が行なわれ、ホームのサービスの質の向上に活かされている。		会発足後、2回目の会議にて当会の名称も決定し、毎回職員が参加をしている。会の安定性や確かなネットワーク作りへ向け、相互訪問の機会をつくり、職員同士の交流を充実させていきたいとの意向を伺った。今後に期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居する前に本人の自宅を訪問したり、ホームの見学に来て頂き馴染みの関係作りに配慮している。いきなり入所ではなく、デイサービスを利用するような形を試み、入居当初はご家族に頻回に顔を出していただく等の協力をお願いし、納得や安心への配慮をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「おはぎの餡はどうやって付けたらいい?」「やっぱり、その方法がいいね」と、入居者と共に食事の準備をしていた。郷土料理や地域の風習等は入居者に学び、共に暮らす中で、寄り添い・支えあう関係を大切にしている。		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントシートやセンター方式等を用いて、入居者・ご家族一人ひとりの思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、ご家族の話の中から、また日常生活に寄り添う中から、時間をかけて意向を探り、ホーム会等で検討している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当者が作成した介護計画を基にカンファレンスを持ち、チーム全体で検討し、ご家族に説明・意見を頂きながら、本人本意の介護計画書を作成している。今後カンファレンスに入居者本人の参加も考慮していきたい旨を管理者より伺った。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎の定期的な見直しと、入居者の状態に変化が見られた場合は、ご家族・関係者と話し合い介護計画の見直し・修正を行なっている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>管理者は看護師であり、長い経験と専門性を発揮し、入居者の日常の健康管理を注意深く行ない、身体状態の変化への適切な対処や重度化していく状況・要望に応じた支援を行っている。主治医や看護師との連携も柔軟に行なっている。</p>		

グループホーム・せせらぎの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居以前のかかりつけ医を把握すると共に、入居後もかかりつけ医と連絡を取り合い、受診や往診をして頂いている。又法人代表者は医師でもあり、以前から、かかりつけ医とする入居者も多い。ご家族の都合によっては職員が受診の付き添いを行なっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に、終末期・緊急時の対応について、本人・家族・かかりつけ医と共に方針を決めている。重度化した際に、本人はどうしたいのか、日頃から本人の思いのくみ取りに注意を払い支援へ向けている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>ホーム会で個人情報の保護と秘密保持の周知・徹底をしている。また日常支援の中で、さりげない声かけやその人に相応しい関わり方をカンファレンスで話し合い対応している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>おおまかな一日の流れは決められているが、一人ひとりのペースや気持ちに合わせて支援している。どの職員もゆったりと入居者に寄り添う対応をしている。</p>		

グループホーム・せせらぎの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は入居者と一緒におはぎをまるめたり、餡やごまをまぶして食事の準備をし、共に食卓を囲み食事をしている。無理なく出来るように準備や場面作りをし、見守り・さりげない支援をしている。ホームの菜園で野菜を収穫・調理したり、昔馴染みの郷土料理を多く取り入れ、入居者の楽しみを支援している。		献立は栄養士が2ユニット同じ献立を作成、ユニット毎に多少の調整は行なっている。入居者の楽しみや喜びの支援へ向けて、献立作りから盛り付け・片付けに至るまで、「食」を楽しむ支援が広がるように期待したい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の生活習慣を一人ずつ把握し、その日の体調・希望に副って支援している。職員体制を整え、時には馴染みの温泉への支援も行なっている。拒否的な場合はチーム間での声かけを工夫し、無理なく入浴できるように配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	おはぎ(この日の昼食)の餡のつけ方は自然と手が動き、若い職員も感心していた。一人ひとりの得意分野や出来そうなことをお願いして行なっていただき、御礼の言葉を伝えている。さらに楽しみや役割を増やして行きたいと前向きに取り組んでいる。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や希望・体調等を考慮し、ホームの特長である広い屋根つきのベランダやテラス(2階)に出て、菜園を眺めたり、外気浴をしている。そこから畑に出たり、近くの公園に散歩やお弁当を作ってお花見に出かける等している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けず自由な暮らしの支援をしている。職員は気配りをしながら、外出される入居者にさりげなく寄り添う支援をしている。		

グループホーム・せせらぎの家

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>一人で行なう通報・初期動作を含めて、消防署の協力を得て、年2回の火災訓練を行なっている。夜間や予告なしの訓練も行ない、とっさの対応ができるようにしている。</p>		<p>運営推進会議以外にも、日ごろから地域住民の協力・参加が得られるように関わりや交流を持ちながら、入居者の安全や安心の確保の為、さらなる働きかけを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養士が一日の栄養バランス・カロリー等を考慮した献立を作成している。職員は入居者一人ずつの嗜好や苦手な食べ物・身体状態などの把握をし、柔軟な対応をすると共に、食事の残量の把握や適正な水分量等の支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>1階の広い吹き抜けのホールやユニット毎の広いベランダは皆が集える共用の場となっている。それぞれのユニットには廊下やホールに座り心地の良いソファ・長いすを置いている。ホールのあちこちに外出した時の写真や入居者の作品等が飾られている。もち米入りのご飯の炊ける匂いや調理の音など、生活感のある共用空間となっている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の入り口にはそれぞれ飾り棚があり、思い思いの写真や小物が飾られている。居室には愛用の鏡台・筆筒などが持ち込まれ、家族の写真を飾る・服の好きな入居者は沢山の衣装箱が置かれたりして、その人らしく過ごせる居室となっている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。